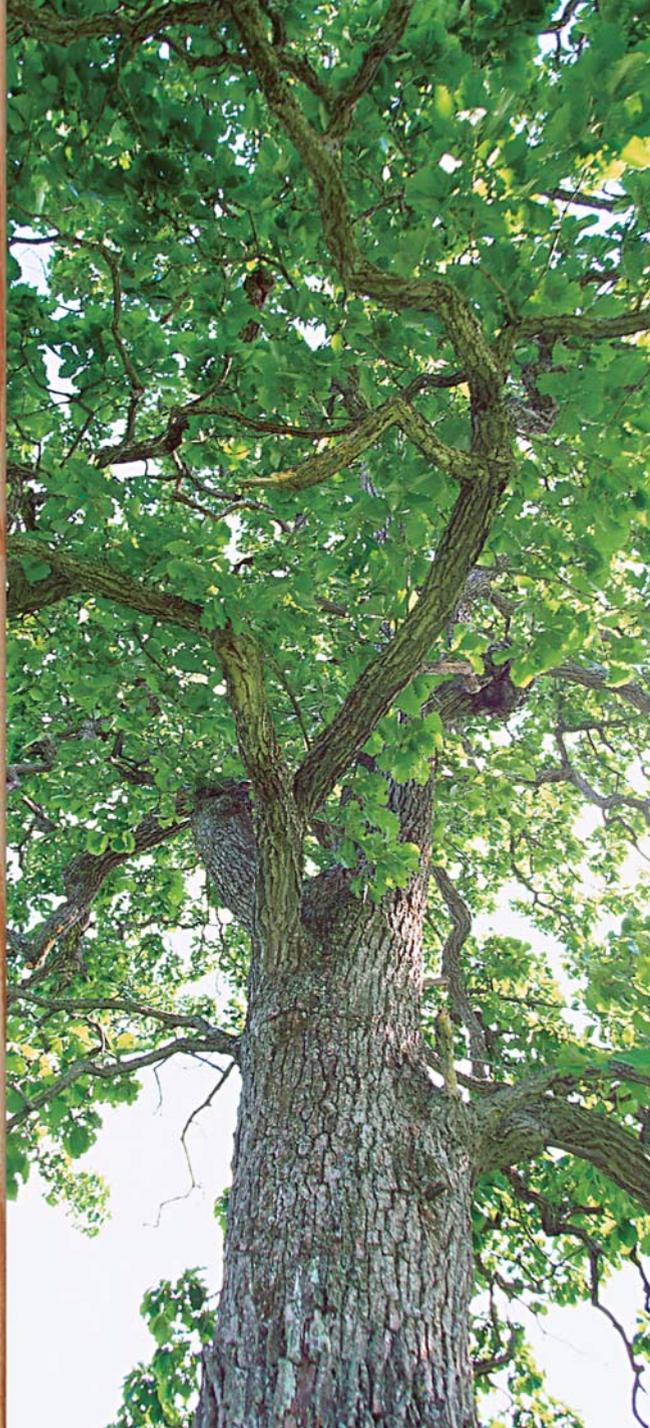


第55期報告書

平成19年4月1日～平成20年3月31日

 南海プライウッド株式会社



New Idea
New Philosophy
南海プライウッドは
新しい経営理念、
新しい経営哲学で
次の時代を見つめています。



[TRIPLE CROSS トリプルクロス]

南海プライウッド経営理念の象徴化および、その具体的活動領域をシンボル化しています。CSR（企業の社会的責任）の課題に対応し社会に向けての行動規範を3つの誓約として+（プラス）のデザインに表し、その領域で付加価値提案や社会貢献する意志を表現しています。

LIFE = 暮らし

HEART = 心

ENVIRONMENT = 環境

ごあいさつ

代表取締役社長

丸山 徹



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。ここに第55期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期のわが国経済は、原油や原材料価格の高騰と米国のサブプライムローン問題を契機として企業収益や消費にかけりが見え始め、緩やかな回復基調で推移していた景気は減速傾向となりました。

また、住宅業界におきましては、「建築基準法」の改正による建築確認審査の厳格化が新設住宅着工戸数に影響をおよぼし、前年を大きく下回る着工戸数となり大変厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、収納材製品の拡販に傾注するとともに海外子会社の生産体制を整備し、海外での収納材製品の生産比率を高めることにより製品の原価低減に努めました。

また、「会社法」や「金融商品取引法」による内部統制の整備、強化の要求にあわせ社内体制の整備、構築に取り組んでまいりました。

今後の景気は、米国経済の減速による影響から当面不確定な状況が続いていくと予想しております。住宅業界におきましても、同業他社との企業間競争はますます激化していき、厳しい状況が続いていくと推測しております。

当社グループといたしましては、たゆみない経営革新により市場の環境変化に迅速に対応するとともに、未来に向かって一歩一歩着実に歩んでまいります。当面は、顧客の要望する製品開発に努め、収納材製品の市場シェア獲得に邁進いたします。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月

暮らし・心・環境に。プラスイノベーション。

+ + + INNOVATION



未来のためのステップとして 新しい経営理念体系を策定いたしました。

私たちはこれからの時代に必要「意識」を共有するために、創業以来からの経営理念を見つめ直し、次代のテーマであるCSR（企業の社会的責任）の概念を組み込んだ新しい経営理念体系を次のように構築いたしました。

社員ひとり一人が自然と社会の現状を把握し、取り組むべき問題と課題に対し意志をひとつにして、一貫性のある行動を実践できるよう内部統制を推進しております。

その思いを集約したコンセプトをステートメントロゴに表し、「暮らし」「心」「環境」の3つの領域に持続可能な安定社会のための革新ある行動と提案をしていくことが社会への責任として受けとめ、これを実践してまいります。

[経営理念]

私たち南海プライウッドは、独自の発想と経営で革新にチャレンジし、お客様の求める真の価値を創造し、ステークホルダーおよび社会との調和ある安定成長を実現します。

[コーポレートステートメント]

この理念のもと、企業の社会的責任を追求しています。安心・安全・快適。品質第一のものづくりを推進し、自然と住まいに優しい環境優先型製品の開発を通じ、住宅文化の発展向上と持続可能な社会を目指すとともに、法令を遵守した公正な社会創りに貢献するために社会に対し3つの誓約を実践します。

行動規範 理念実現のための 3つのPROMISE

1 暮らし+INNOVATION

安定持続社会のために企業倫理を守ります。
ステークホルダーの安心の暮らしを守るためにCSR／コンプライアンスを経営の中核においた態勢を構築します。

2 心+INNOVATION

お客様の心を満たします。
大切なお客様の笑顔を守り、信頼を築く態勢を構築します。

3 環境+INNOVATION

あらゆる環境の持続に努めます。
自然・社会・人の環境持続を優先した態勢を構築します。

当期の概況

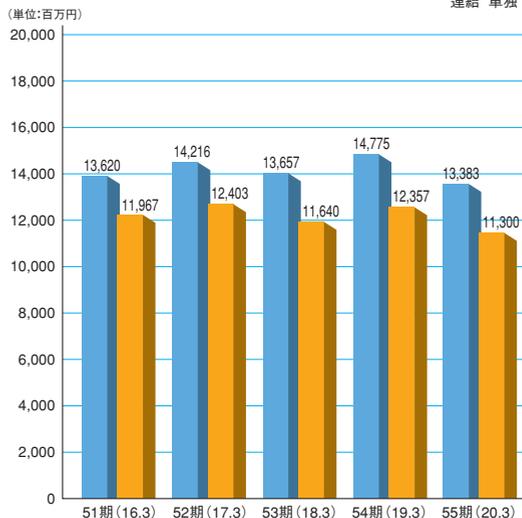
当連結会計年度のわが国経済は、企業収益の回復を背景に緩やかな回復基調を継続しておりましたが、原油や原材料価格の高騰と米国のサブプライムローン問題により景気に減速傾向が見え始めました。また、住宅業界も平成19年6月施行の「建築基準法」の改正が新設住宅着工戸数に影響をおよぼし、前年を大幅に下回る19.4%減少の103万5千戸となり、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループでは、木材関連事業、電線関連事業等とともに企業間競争の激しいなか積極的な提案営業活動の展開により製品の拡販に努めました。木材関連事業におきましては、海外子会社での収納材製品の生産比率を高めることにより製品の原価低減に努めました。また、重点販売製品として天井材は、光触媒消臭天井「イートシック・シーリング」を、収納材は、棚板「アートランパーリア」および収納部材「アートランパーシェルホワイト」を1ミリ単位にカットする「オーダーズカット製品」を掲げ、拡販に努めてまいりました。その結果、収納材は売上高が前年実績を若干上回ることが出来ましたが、天井材および床材につきましては、減少となりました。

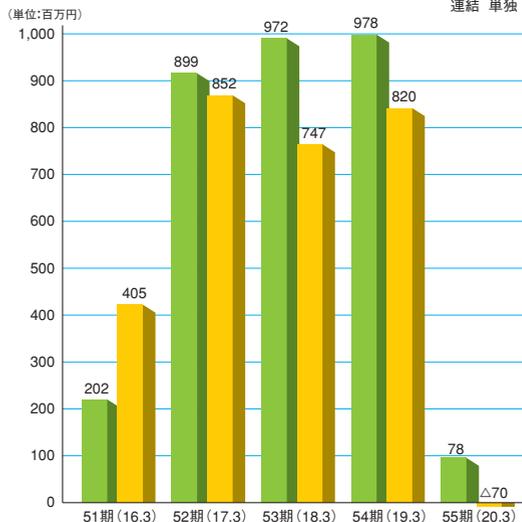
一方、電線関連事業等につきましては、企業の設備投資に向けて、地域密着型の積極的な営業活動を展開することにより、建設物件の獲得に努めましたが、大口物件の減少が受注額低迷の要因となりました。

以上の結果、連結業績は、売上高133億83百万円（前年同期比9.4%減）、利益面におきましては、内部統制整備にかかわる販売費及び一般管理費の増加等で、営業利益3億86百万円（同38.9%減）、外貨建資産の為替差損、デリバティブ評価損、持分法適用会社の投資損失他により、経常利益78百万円（同91.9%減）、当期純損失21百万円となりました。

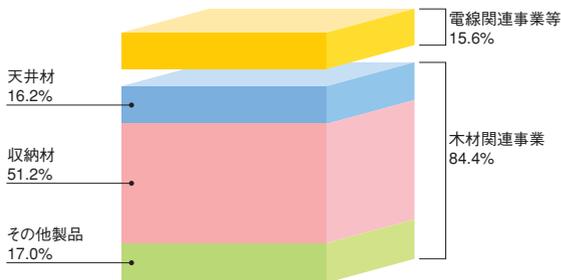
▼売上高の推移



▼経常利益の推移



▼セグメント別の連結売上高構成



▼新設住宅着工一戸当たりの木材関連事業の売上高推移



注) 売上高は、外部顧客に対する売上高であります。

次期の見通し

今後のわが国経済は、原油や原材料価格の高騰ならびに米国経済の減速の影響から不透明な状況が続いていくことが予想されます。住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数の回復に期待をしておりますが、建築コストの上昇等から厳しい状況が続いていくと推測されます。

当社グループといたしましては、引き続き経営基盤の強化に取り組み、グループの業績拡大を図っていく所存であります。木材関連事業におきましては、収納材のトップメーカーを目指し、顧客要望の製品開発に取り組みとともに、収納材製品の市場シェア獲得に努めてまいります。また、収納材製品の原価低減に取り組み、海外子会社と連携し効率的な生産体制を推進してまいります。

一方、電線関連事業等につきましては、経営基盤の強化に努めますとともに取扱商品の拡大をはかり、全社をあげて「創る営業活動」に意識を改め、積極的な営業活動を展開してまいります。

次期の連結業績は、売上高136億30百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益4億60百万円（同18.9%増）、経常利益6億30百万円（同699.0%増）、当期純利益4億10百万円になるものと予想しております。

連結子会社一覧

■木材関連事業

南海港運株式会社
南海システム作業株式会社
SENTUHAMONI SDN.,BHD.
PT.NANKAI INDONESIA

■電線関連事業等

ナンリツ株式会社

連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表

	前連結会計年度 (平成19年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成20年3月31日現在)
■資産の部		
流動資産	10,205	9,255
現金及び預金	1,495	1,169
受取手形及び売掛金	3,291	3,201
たな卸資産	4,491	4,454
デリバティブ債権	300	42
その他	656	391
貸倒引当金	△29	△4
固定資産	9,824	9,488
有形固定資産	8,180	8,042
建物及び構築物	2,313	2,291
機械装置及び運搬具	957	957
工具器具備品	56	43
土地	4,763	4,750
建設仮勘定	90	—
無形固定資産	108	78
投資その他の資産	1,536	1,366
投資有価証券	822	643
長期貸付金	132	81
その他	581	643
貸倒引当金	—	—
資産合計	20,030	18,743

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成19年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成20年3月31日現在)
■負債の部		
流動負債	2,618	1,982
支払手形及び買掛金	1,556	938
短期借入金	300	200
未払金	287	213
未払費用	71	72
未払法人税等	172	15
未払消費税等	55	66
賞与引当金	111	120
繰延ヘッジ利益	—	332
その他	63	21
固定負債	532	321
繰延税金負債	290	121
退職給付引当金	117	133
役員退職慰労引当金	61	28
その他	63	38
負債合計	3,151	2,303
■純資産の部		
株主資本	16,525	16,380
資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	12,605	12,465
自己株式	△67	△71
評価・換算差額等	339	22
その他有価証券評価差額金	195	90
繰延ヘッジ損益	95	△191
為替換算調整勘定	48	124
少数株主持分	14	36
純資産合計	16,879	16,440
負債・純資産合計	20,030	18,743

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表の要旨

貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成19年3月31日現在)	当事業年度 (平成20年3月31日現在)
■資産の部		
流動資産	7,652	6,958
固定資産	11,025	10,461
資産合計	18,678	17,419
■負債の部		
流動負債	1,525	1,222
固定負債	464	249
負債合計	1,989	1,471
■純資産の部		
株主資本	16,409	16,057
資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	12,490	12,142
自己株式	△67	△71
評価・換算差額等	279	△109
その他有価証券評価差額金	184	82
繰延ヘッジ損益	95	△191
純資産合計	16,689	15,947
負債・純資産合計	18,678	17,419

損益計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成19年4月1日から 平成19年3月31日まで)	当事業年度 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	12,357	11,300
売上原価	9,017	8,231
売上総利益	3,339	3,069
販売費及び一般管理費	2,844	2,883
営業利益	495	186
営業外収益	349	172
営業外費用	24	428
経常利益(△経常損失)	820	△70
特別利益	12	—
特別損失	82	112
税引前当期純利益(△純損失)	751	△182
法人税、住民税及び事業税	256	8
過年度法人税、住民税及び事業税	44	—
法人税等調整額	58	37
当期純利益(△純損失)	390	△228

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	14,775	13,383
売上原価	10,387	9,453
売上総利益	4,387	3,930
販売費及び一般管理費	3,755	3,543
営業利益	632	386
営業外収益	372	146
営業外費用	25	454
経常利益	978	78
特別利益	14	13
特別損失	83	19
税金等調整前当期純利益	909	73
法人税、住民税及び事業税	291	56
過年度法人税、住民税及び事業税	44	—
法人税等調整額	23	35
少数株主利益	—	2
当期純利益(△純損失)	549	△21

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	933	353
投資活動によるキャッシュ・フロー	△185	△394
財務活動によるキャッシュ・フロー	△523	△208
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△74
現金及び現金同等物の増減(△)額	227	△324
現金及び現金同等物期首残高	1,258	1,485
現金及び現金同等物期末残高	1,485	1,161

NEWS RELEASE

アートランバー オーダーズカット・システム 自由設計型システム収納材 [オオ]

Kitchen & Entrance Special Plan



ART-LUMBER
ORDER'S
CUT SYSTEM



シンプル・ビューティーなキッチンバックセットと
シンプル・リッチなエントランスクロックが新登場。

あたたかみのある白、アートランバー・シェルホワイトの清潔感と
直線的なデザインを引き締め、変化をつけるアルミのシルバーライン。
アクリルの透明感が部屋全体の印象を明るくライトに仕上げます。



RENEWAL アルミ引戸の仕様が新しくなりました。



【アルミ引戸 標準仕様】 ※開戸は従来仕様。

- 取手は枠と一体化するシンプルなデザイン。
- 下部センターに小さなガイドローラーを設定した下枠のないフラットデザイン。(エントランスプランは別仕様)
- 意匠性を高めるレールカバーと中間スクリーンを採用。
- 上部はなめらかな動きの吊り車を装着。レールにはストッパー装着で衝撃を緩和。
- キッチンバックセットにはダンパーを特別装備しています。スプリングの機能によって閉める際の衝撃と音を大幅に緩和します。

暮らす心と空間に、新しい感動を創造します。

お客様が想像し、真に求める最良の暮らしにプラスイノベーション。
安心・安全・快適はもちろん、高いデザイン性と機能性を備え、
高耐久で持続可能な高付加価値型製品のプロダクトを通じ、
こころの満足度NO.1のユーザ・エクスペリエンス・メーカーを目指します。



インテリアロングボード

「アートランバーリフ」

大画面薄型テレビをリビングに設置するのに最適な
インテリアロングボードが、好評です。
ボードだけならシンプルかつリーズナブルに仕上がリ、
さらにインテリアデザイン、使用方法、予算にあわせて
収納ボックスを追加できる自由度の高い提案製品。
今後、新たなオプションパーツも加わる予定で
ますます使いやすくなります。



オリジナル製品達が
どんどん芽吹いて
成長しています。



アルミ製オープン階段

「ルミスト」

3段廻り階段がリニューアル。

今までのストレート階段やL型U型階段に比べ、
小スペースに設置できるので、コンパクトなリビングにも対応します。
オープン階段によって空間を広く見せる効果を発揮できます。

オープン階段ルミストは、今住宅に求められている

「家族のつながり」を大切にする空間づくりに最適な製品です。



中 整理・整頓・清掃・清潔 中

労災事故 **ゼロ** 件達成!!

当社の安全衛生活動は、各事業所における安全衛生委員会を産業医の先生にも出席いただき毎月開催しております。また、2ヶ月に一回は全社安全衛生委員会を開催しております。全社安全衛生委員会においては、各事業所で解決できない問題や全社で取り組む活動について話し合い、計画・実行して結果を確認し改善に結びつけるようにしております。2007年度におきましては、労働災害事故0件を目標に活動してまいりました結果、初めて目標を達成することが出来ました。これからも従業員が安全に安心して働ける職場の構築・改善に努め、安全衛生活動を推進してまいります。

全社安全衛生委員会

委員長 丸山 徹

志度工場安全衛生委員会

安全衛生管理者 小野 彰三

本社安全衛生委員会

安全衛生管理者 田井 雅士

物流センター安全衛生委員会

安全衛生管理者 正箱 孝史

産業医 クワヤ病院

医院長 石濱 英暢



本社



物流センター



志度工場

株式の状況

(平成20年3月31日現在)

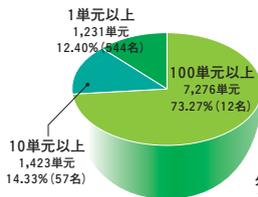
総数

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式総数	10,095,800株
株主数	700名(前期末比54名減)

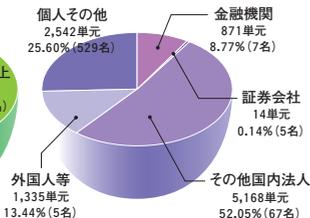
大株主

株主名	持株数	議決権比率
南海興産株式会社	2,943千株	30.21%
財団法人南海育英会	1,554	15.95
エスアイエス セガ インターセトル エージ	501	5.14
株式会社百十四銀行	467	4.79
ソエテ シネラル エアールエー エイオー デイティブイ	443	4.54
丸山 修	344	3.53
株式会社愛媛銀行	243	2.49
クラリデン ロイ リミテッド	202	2.07
南海プライウッド株式会社	190	0
エスジープライベートバンキングスイスエスエー	134	1.37

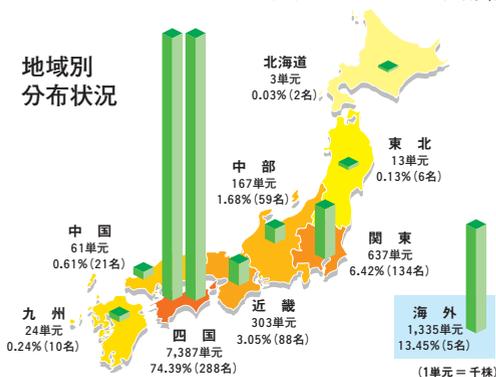
所有単元数別分布状況



所有者別分布状況



地域別分布状況



会社概要

(平成20年3月31日現在)

商号 南海プライウッド株式会社
 本社 〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号
 電話 087(825)3615(代表)
 Eメール np@nankaiplywood.co.jp

インターネット
 ホームページ <http://www.nankaiplywood.co.jp>

設立 昭和30年4月16日
 資本金 21億2100万円
 従業員数 381名(連結1,389名)
 事業内容 建築内装材の製造・販売
 事業所 志度工場
 〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地
 物流センター
 〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1
 朝日新町倉庫
 〒760-0064 香川県高松市朝日新町28番1号

役員

(平成20年3月31日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	取締役・執行役員	藤村 岳志
代表取締役専務執行役員	山口 時弘	取締役・執行役員	正箱 孝史
専務取締役執行役員	田井 雅士	取締役・執行役員	丸山 宏
取締役相談役	丸山 修	常勤監査役	高松 幸雄
取締役・執行役員	立花 俊憲	監査役	大川 俊徳
取締役・執行役員	小紅 正晴	監査役	岩部 達雄
		監査役	村田 剛

株主メモ

- 事業年度 / 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 / 6月
- 基準日 / 3月31日(その他必要があるときは、予め公告する一定の日)
- 株主名簿管理人 / 株式会社だいこう証券ビジネス
- 同事務取扱場所 /
 〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部
 - 株主事務各種問合せ フリーコール電話番号 0120-255-100
 - 株主関係手続用紙請求先 フリーコール電話番号 0120-351-465
 - インターネットホームページ <http://www.daiko-sb.co.jp>
- 同取次所 / 株式会社だいこう証券ビジネス 各支社
- 上場金融商品取引所 / 大阪証券取引所 市場第二部(証券コード7887)
- 公告方法 / 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。



南海プライウッド株式会社